

RC

Fake-founda

RCフェイクファンデ



RC

Fake-founda

コンクリートの風合いが蘇る 塗装だから可能になる価値とともに

コンクリートは、建物などの外観をおしゃれに演出する魅力的な素材ですが、放っておくと汚れが目立ちやすく、美しい素材感を維持するには細やかなメンテナンスが必要になってきます。

「RCフェイクファンデ」は、デザイン塗装でコンクリートの風合いを復元するとともに、特殊機能「ラジカル制御 Wガード」と「低汚染機能」が美観の維持という価値を付与します。

『美観の維持』という大切なファクターに
「強さ」と「機能」の2つの側面から効果を発揮

躯体の保護機能



Radical Control W Guard

ラジカル制御 Wガード

紫外線劣化に対する塗膜の強さが
躯体保護と塗膜表面の美しさを維持

美観の維持機能



低汚染性
防カビ・防藻性

雨筋や黒ずみの汚れが
付着しにくい機能で美観を護る



『コンクリートのリアルな質感』が
まるで新築時のような装いを演出



Radical Control W Guard

2

デザイン塗り

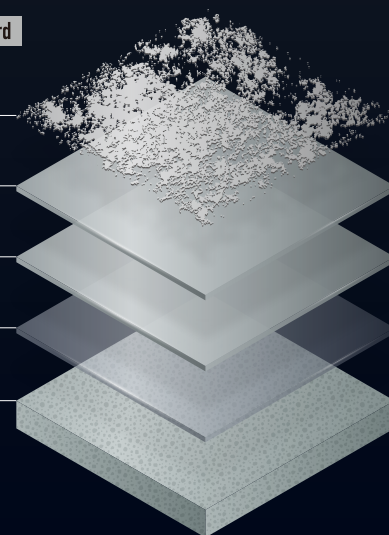
1

中塗 2

中塗 1

プライマー

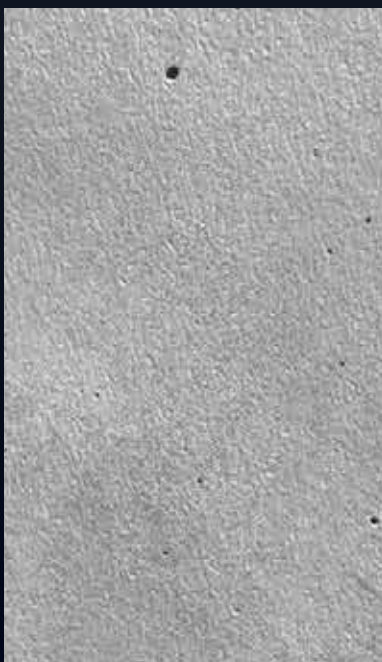
下地





RCフェイクファンデ標準色

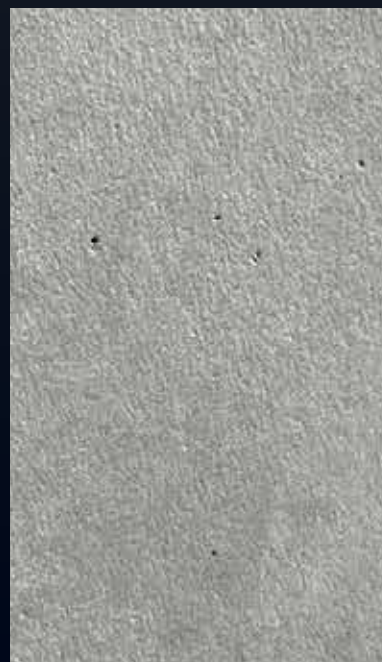
FC01 グレー系



FC02 ブルー系



FC03 イエロー系



注) 上記の提案色は、実際の色味と異なる場合があります。必ず、実際の塗見本で色合いをご確認ください。

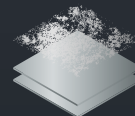
躯体の保護機能



ラジカル制御技術

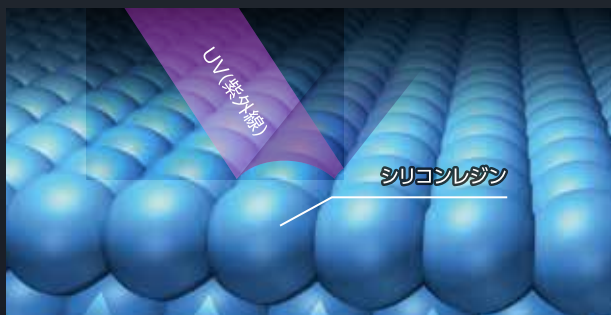
塗膜劣化の原因物質「ラジカル」の活動を抑えることで紫外線から外壁を護ります。
もちろん美観の維持も果たします。

Radical Control
W Guard



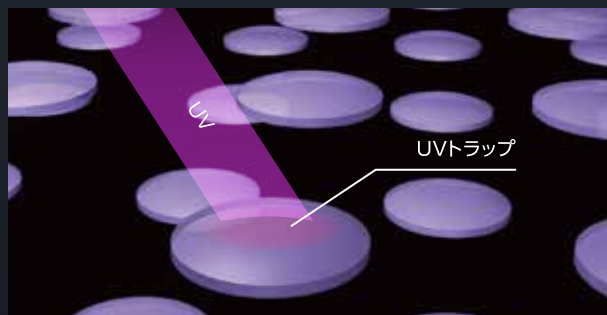
ラジカルバリアコート

超強力な結合エネルギーを持つ国産「高性能シリコンレジン」で紫外線劣化を阻止



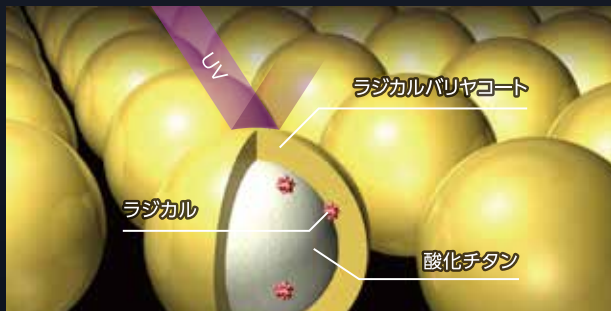
UVトラップ

「高性能シリコンレジン」をすり抜けた紫外線を「UVトラップ」で無害化



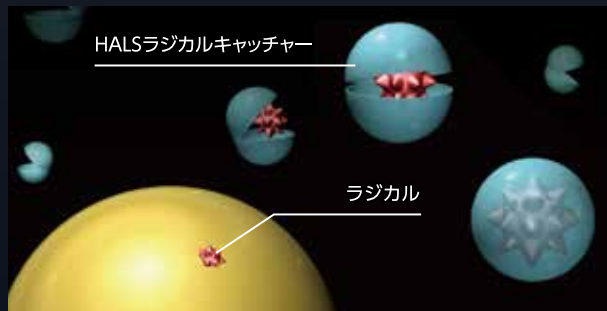
ラジカルバリアコート

酸化チタンへの紫外線到達を阻止しラジカル発生を抑制

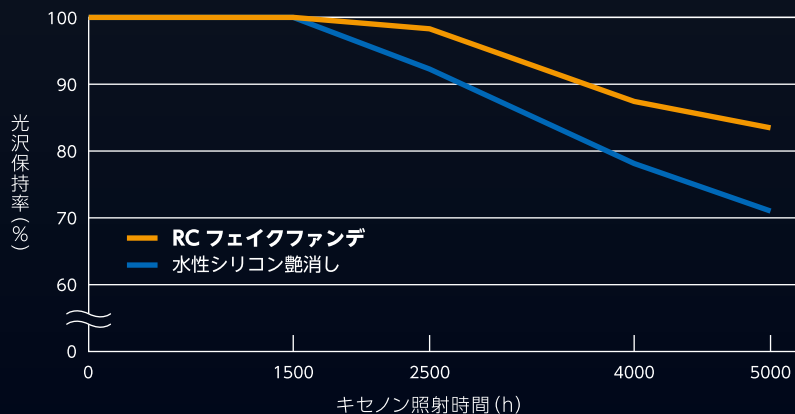


HALSラジカルキャッチャー

極微量すり抜けた紫外線によって発生したラジカルは「HALSラジカルキャッチャー」で捕獲し無害化。



促進耐候性試験結果



※ JIS-A-6909耐候形1種 (キセノンランプ法2500時間、光沢保持率80%以上) 合格レベルの性能を有しています。これは、一般的に10～15年の耐久性に相当します。

美観の維持機能



低汚染性 防カビ・防藻性

低汚染性試験で他社品と比較しても雨筋汚れが残りにくく、外観の美しさ保ちます。
カビや藻が建物に影響する美観の問題にも効果を発揮します。

低汚染性試験(屋外暴露)



防カビ・防藻性試験



荷姿・塗㎡数

RCフェイクファンデ	水性	FC01、FC02、FC03	16kg (4kg)	200～320㎡/回 (50～80㎡/回)
RCフェイクファンデ中塗	水性	FF543	15kg (4kg)	65～115㎡/回 (17～30㎡/回)
アレスダイナミックシーラーアクア	水性	白、透明	15kgセット (ベース/硬化剤=12.5/2.5)	75～115㎡/回
アレスダイナミックシーラーマイルド	弱溶剤	白、透明	15kgセット (ベース/硬化剤=12.5/2.5)	83～125㎡/回

標準塗装仕様

工 程	塗料名・処置	塗回数	塗装方法	標準所要量 (kg/㎡/回)	希釈率 (重量%)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)
素地調整	【旧塗膜がない場合】	ジャンカ、巣穴、レイトランスなどは適切な処置を施した後、 表面の汚れを高圧水洗にて乾燥した清浄な面にしてください。(含水率10%以下、pH10以下)				
	【旧塗膜がある場合】	クラック、漏水等の欠陥に対し、適切な処置を施す。劣化した旧塗膜は、適切なケレン工具(皮スキ、ワイヤーブラシ等)で除去し、表面の汚れを高圧水洗にて取り除き、乾燥した清浄な面とする。				
下塗	アレスダイナミックシーラーアクア	1	ハケ・ローラー	0.13～0.20	0～10(上水)	4時間以上7日以内
	または アレスダイナミックシーラーマイルド	1	ハケ・ローラー	0.12～0.18	無希釈	4時間以上7日以内
中塗り(2回)	RCフェイクファンデ中塗 FF543	2	ハケ・ローラー	0.13～0.23	0～10(上水)	2時間以上7日以内
デザイン塗り	RCフェイクファンデ	1～2	スポンジ ※1 海綿ローラー	0.05～0.08	20～30(上水)	2時間以上7日以内

※ 素地のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケット科学社製CH-2)、または5%以下(ケット科学社製HI-500シリーズ:コンクリートレンジ)の条件で塗装してください。

※ 所要量は被塗物の形状や素材、塗装方法、環境などによって増減することがあります。

※1 スポンジ海綿ローラー(好川産業)は、デザイン塗り専用ローラーです。

ません。●塗装後、乾燥不十分な状態で降雨・結露などで負荷が掛った場合や、低温・高湿度、通風の悪い環境では、膨れ、はれ、離れ、白化、シミなどが発生するおそれがありますので、塗装を避けてください。●絶えず結露が発生するよう用途・場所での使用は避けてください。溶剤系塗料での塗装をおすすめします。●可塑剤が含有される部材（塩ビ・銅板・ゴム・パッキン・ラミネート・合成皮革・プラスチック・シーリング材など）への塗装は避けてください。粘着や軟化が生ずるおそれがあります。また、これら部材に直接塗膜が接触しないよう注意してください。●蓄熱されやすい素材（軽金属熱型・ALC、高熱型窯業系サイディング、発泡ウレタン・発泡建材材など）を用いた（高熱型熱型）で、旧塗膜が弾性・リシンや弾性スチック、アクリル樹脂等の場合、そのまま塗装すると環境条件によっては水や湿度の影響で塗膜が膨れたり、剥離が生じる場合がありますので、旧塗膜は完全除去してください。●気温5℃以下（低温）、湿度85%以上（高湿）での施工は避けてください。●屋外において降雨・降雪、強風の恐れがある場合は塗装を避けてください。●塗装の形状・環境（温度、湿度、換気回数等）が増厚により変わります。●所要量は、被塗物の材質や素材、塗装方法、環境などにより異なることがあります。●結露が発生する場所では、塗料中の微量の水溶性成分が表面に溶出し粘着物となって析出することがあります。粘着物は水拭きや水で洗剤で除去してください。●塗膜に降雨や結露の影響を受けたい場合は、白化や艶引きなどの異状が生じやすくなります。山間部や河川近くなどの夜露の早くおきる多湿地域では、より条件が厳しくなりますのでご注意ください。●塗装仕様書に記載の数値は標準のもので、被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件により多少の幅を生じることがあります。●塗膜性能を十分に発揮させるために、所定回数塗り重ね塗料確保による施工を行ってください。●適用可能な旧塗膜は下地との付着性に問題なく、剥離であることと条件としています。活断下（付着強度が0.7N/mm以上）の吸い込みの著しい地下では、[アレスダイナミックシーラーマールド]を推奨します。●吸い込みの多い地下や素材の場合は、塗付量が多く乾燥が遅くなりますので塗装間隔を長めにとってください。また、上塗までの塗装間隔が規定よりも短い場合、縮み、割れ、乾燥不良、起ち率のおそれがありますので注意してください。●被塗物の形状、厚さや色、塗回数、希釈率の差などにより、実際の艶と若干異なるて見える場合があります。また塗継ぎ箇所で艶ムラを生じやすい傾向があります。試し塗りで上、本施工に入ってください。●本品を塗装の際は、中塗や上塗に塗り残しや透けがないようご注意ください。塗り残しや透けがある場合、塗料の透過によりシーラー塗膜が紫外線劣化を起こし層間で剥離が生じるおそれがあります。●吸い込みの多い、はれ被塗物などの部分替え時はシーラーを塗装後に再度シーラーを塗付しその密着性を確認し、はれが生ずる部分は替えを繰り返す。その部分にガムテープを基材としてください。●シーリング打設幅が広く、構造大きな動きが予想されるシーリング打設部へは塗膜、塗膜がひび割れる可能性が有りますので避けてください。●シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、剥離、伸縮割れ、粘着などの不具合を生ずることがありますので行わないでください。やむを得ず行う場合は、本製品に対して塗装適合性のあるノンブリードタイプのシーリング材を用い、完全に硬化した後に行ってください。また、[マルチオールコンクリートプライマー-EPI]、[シーパル]、[アレス水工ボンド]を下塗りすることで、可塑剤移行による汚染、粘着の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などにより剥離、伸縮割れが起こることがあります。●シーリング面は、塗膜が汚染・はれ・収縮割れを起こすことがありますが、マスキングテープなどで養生を行い、塗装を避けてください。シーリング材を打ち替える場合は、後打ちとし、可塑剤（油分）を含まないノンブリードシーリング材をご使用ください。●補修塗り用として使用塗料の量を必ず塗つておき、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装してください。●補修塗りの際は、塗装方法や凹凸肌のちがい等により、仕上がり色に若干の差を生じる場合がありますので、部分的に試し塗らした上で希釈量等を決定してください。●ローラー塗装では同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相や仕上がり感が異なるて見えることがあります。●剛毛塗り（仕上げ）とローラー仕上げが混在する場合、仕上り肌や色相に多少差が生じます。●水性塗料を塗装する場合の剛毛はナイロン剛毛を使用してください。獸毛剛毛は固まったりリタマにならずに使いにくいので使用しないでください。●被塗面の洗浄に薬剤を用いた場合、水洗を急に行ってください。被塗面に薬剤が残存したまま塗装すると、塗替後の塗膜に膨れ、剥がれ、白化等の異常をきたす場合があります。水洗後にpH試験紙を用いて被塗面が中性になっていることを必ず確認してください。●塗り替え塗装の前

必ず高圧水洗やブラッシングを用いて、被塗面の付着物や劣化塗膜を十分に除去してください。下記調整が不十分な場合には塗膜剥離の原因となったり、光沢不足や色ムラが発生するなど異常を生じるおそれがあります。●改修時の既存塗膜の剥離箇所は、予め既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。●改修時、漏水がみられる場合は、予め要因となる箇所への防水処理を行ってください。●新設コンクリート面に塗装する場合、pH10以下、表面含水率10%以下(ケット科学社製CH-2型で測定した場合)、又は表面含水率5%以下(ケット科学社製H5000シリーズ:コンクリートレンドで測定した場合)まで十分乾燥させてください。●水洗直後は下表面の含水率が高くなりますので、十分に乾燥(含水率10%以下:ケット科学社製CH-2型で測定した場合)させた後に塗装してください。●タイル洗浄薬剤が塗装面に付着した場合、塗装面の変色や早期劣化を生じることがありますので塗膜面の養生を行ってください。●塗料の希釈率は試験塗装などにより決定し、それ以降は同じ希釈率で塗装してください。●規定範囲を超えて希釈すると、ハシコ・光沢低下・色味変化・ダレ・隠蔽力不足など仕上りに異常をきたすおそれがありますので、所定の希釈率を遵守してください。また当該現場で一度定めた希釈率はなるべく同一にしてください。●使用前に塗料を均一にかき混ぜてください。特に濃色系塗料は保管期間が長いと容器内で顔料の分離が生じていることがありますので十分攪拌の上で使用ください。●塗装用具などは、塗料が乾燥しているで固まらずに洗浄してください。水で落ちにくい場合、水性デグリーザー・洗剤やラッカーシンナーを用いて洗浄してください。●開栓後の塗料はできるだけ早く使い切ってください。また使用した塗料を元の塗料容器に戻さないでください。●現場での材料は、容器が密栓されていることを確認し、直射日光や凍結を避けた屋内の冷暗所で保管してください。●塗料が付着した布・ウエス、紙・ローラーは引火、発火を防止するため水に浸漬するなどして安全対策を行ってください。●塗装後および塗料の取り扱い時には、換気を十分に行い、火気厳禁を行ってください。●製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

●下塗りの仕上り性が上塗り及びデザイン塗りの仕上り性に影響を及ぼすため、下地調整を急に行い、塗り回数、塗付量、希釈量、ローラー塗装時の同一方向仕上げ等を厳守してください。

●本品及びデザイン塗りは指定色を使用しているため、カラーペースト等で微調整をしないて下さい。●本品及びデザイン塗りを塗装する時には施工要領書の内容を把握しなさい。試験施工で仕上りを確認の上、本施工を行ってください。●本品及びデザイン塗りは、膜厚・温度、湿度、塗回数、塗装方法、希釈率、被塗物の吸込み程度の違いなどにより艶の発現性が変化します。特に剛毛ローラー塗装時の塗塗き部では膜厚と異なり、その部位の艶が高くなり、艶ムラを生じやすい傾向があります。試験施工で仕上りを確認の上、本施工を行ってください。●本品及びデザイン塗りは、高温などの乾燥が早い環境下では艶ムラが生じやすくなります。特に被塗面に直射日光で熱せられ高温になると塗膜の形成凹の凹凸が増え、さらに塗膜厚が不均一になりやすくなるため艶ムラが生じやすくなります。●本品は艶消しのため塗布継ぎ部をつくらないよう注意し、面を切って、通し塗りを行ってください。●本品は、使用において塗料に含まれる艶消し剤が沈降しやすい場合がありますので、適宜攪拌しながらご使用ください。●防カビ・防藻性は繁殖の抑制の効果を示すものです。施工部位の構造や形状、環境条件などにより、これらの効果が十分に発揮されない場合があります。●構造や部位、環境条件により低汚染性が発揮されない場合があります。(傾斜壁の下部、笠木などの汚れ、汚れた影響やすい窓周り、横樋目下部、降雨がからかない面や、シーリング材からの汚染物質の蓄まりなど)

● 本品の希釈率は20~30%です。希釈率は仕上りに影響を及ぼすため規定量の厳守をお願いします。● デザインの仕上がり感を見る距離や角度によって異なりますので、必ずモップアプを実施して塗装方法、仕上りを確認してから塗装してください。● 指定のローラーを使用し、必ずネット十分に扱いながら塗装してください。塗料を多量に含んでいると仕上りに影響します。● ネットで十分に扱いながらローラーで表面を軽く転がす感じで模様付けを行い、ランダム模様になるよう塗装して下さい。● 大きい面積を塗装する場合は、見切れる箇所で分割して塗装してください。● ランダムに模様付けした後、直ぐに全体を塗装するようにして下さい。模様付け塗装と全体塗装の時間が経過して模様付けが乾燥した場合、そのまゝの形状と色で仕上がり、所定のデザイン仕上がりになりませんので、ご注意ください。

《ご使用上の注意事項》下記の注意事項を守ってください。詳細な内容については安全データシート(SDS)をご参照ください。

取り扱い作業中・乾燥中にも換気の良い場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具（帽子・保護メガネ・マスク・手袋等）を着用し、身体に付着しないようにすること。 吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・スリ巻きタオル・長袖の作業着・前掛けを着用すること。火気を除けること。静電気放電に対する予防処置を講ずること。火災を発生しない工具・防爆型の電気機器・換気装置・照明機器等を使用すること。裸火又は高温の白熱体に直接接触しないこと。本品の目以外に使用しないこと。指定材料以外のものとは混合（多液量の混合・希釈等）しないこと。缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。取り扱い後は、洗濯、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を除けること。本品の付いた布類・本品の栓か等は水に浸して処分すること。

目に入った場合：直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。 皮膚に付着した場合：直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。 吸入した場合：空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の

診察を受けること。 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。 漏出時や飛散した場合は、砂、布類（ウエス）等で吸い取り、拭き取ること。 火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。

指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。

本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所に廃棄しないこと。)

本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施主様に利用安全性に十分に注意を払うように指導してください。例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、左看板などでペンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。